

33

## 商談② 用件の説明

応接室に案内されたマーク課長は、腰を落ち着けてクリフ社長と商談をすることになりました。AYC 社はシンガポールの工場拡張を検討しているようです。

Track  
34

Mark: Cliff, we're thinking of expanding our plant in Singapore to meet future demand in this country <sup>1</sup> and export our products to other countries, mainly China.

Cliff: Oh, that's good to know.

M: We'd like to ask your company to conduct a survey to determine whether it's worth doing in this country.

C: OK, Mark. We'll do a thorough survey and give you a report by the end of next month.

M: Thank you. Well, shall we continue talking about the legal issues we need to work out?

C: Sure. First, let's take a break.

M: <sup>2</sup> Good idea.



Alex's ワンポイント・アドバイス

## 1 and export our

and export our は、d が消え、さらに and+ex、t+our とそれぞれ音変化が起こり、「アネキスポーター」となります。

## 2 Good idea.

Good idea. は d+i で「グダイディア」となります。

## リラックスして話を進めるために

## 会話の解説

that's good to know: 耳よりな話だ

survey: 調査

legal issue: 法律問題

Phrase Check! 

## ■ work out

「(問題の) 解決策を見つける」という意味で、resolve に言い換えることも可能です。

## ■ take a break

「break (休憩) を取る」という意味で使います。take a comfortable break という「トイレ休憩を取る」という意味に変わります。give me a break という「勘弁してくれよ」という別の意味になります。

ここでは、マーク課長がクリフ社長に、シンガポールの工場を拡張することの妥当性を GOOD 社に検証してほしいという相談を持ちかけています。whether it's worth doing in... という表現は、「～する価値があるかどうか」といった意味で、価格や意思決定をするときにとても便利な表現です。worth doing だけでなく、ひとまとめにして暗記しておきましょう。

クリフ社長は、マーク課長の依頼に対し、「十分な調査をしましょう」として We'll do a thorough survey といっています。筆者がニューヨークに駐在していたころ、同様の意味で「綿密に調査をする」というとき、scrutinize という単語が会議で頻繁に使われていました。これもセットで覚えておきましょう(→p.119参照)。

アメリカ人は、緊張感を和らげるために会議の途中でユーモアを入れるのが非常に上手ですが、ここでも First, let's take a break. といって、リラックスして議論を続けていく様子です。周囲のよいところはどんどん吸収していきましょう。

## 訳

Mark: クリフ、われわれは国内の将来的な需要を満たし、おもに中国を中心とした海外に向けて製品を輸出するために、シンガポールの工場を拡張することを考えています。

Cliff: おお、それはいい話だね。

Mark: この国でそうする価値があるかどうか、あなたの会社に調査を行うことをお願いしたい

んです。

Cliff: 承知したよマーク。完璧な調査を行って、来月末までに報告書を提出しよう。

Mark: ありがとう。では、引き続き解決すべき法律問題の話にうつりましょうか。

Cliff: そうだね。でも、まずひと休みしないか。

Mark: いいですね。